

支援内容



実績

項目	件数
共同研究	19件
横断プロジェクト	3件
合計	22件

2021年度
共同研究等

項目	金額	件数
2019年度までの累計	27億5,840万円	75件
2020年度	7,350万円	5件
合計	28億3,190万円	80件

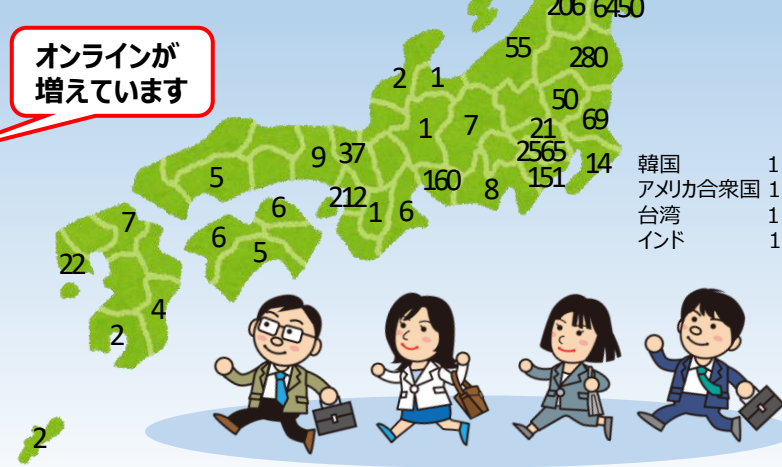
競争的資金獲得額



オンラインが増えています

超現場主義！

全国各地の
企業・現場に
お邪魔します！
オンラインでも！



地域企業へのアンケート結果

みなさまの声	年度	回答数	新規事業売上高	新規雇用者数
T社K様 弊社の特質を踏まえた客先紹介・マッチングを行っていただいております。今後も継続してご紹介いただければ助かります。また、新規技術が必要になった場合の東北大学の研究室への窓口にも期待しております。	2019年度までの累計	227件	28億1,159万円	113人
H社H様 1企業ではできないテーマでも複数の企業で知恵を出し合い、産学が共同して取り組むことで可能性が生まれていると感じる。	2020年度	16件	3億810万円	11人
D社S様 情報の入手場所であったり、普段、交流のない異業種だったり横へのネットワークが広がりが業務の幅が広がるために良い活動の場だと感じております。	合計	243件	31億1,969万円	124人
T社N様 東北IT新生コンソーシアムの活動の中で、地方創生・公共機関の課題解決・地域事業者の活性化のために東北大学シーズ活用のための技術指導、行政との人的ネットワーク構築、活動に有用な情報提供などにご尽力いただいております。コンソーシアム活動を推進する中で最も重要な存在である。				
S社D様 ビジネスのアイデアが浮かんだ際に、ビジネスの可能性を検証するのに必要な知見を見繕って頂き、この視点から検証してはどうかといった助言も頂けることは大変ありがたい。IIS研究センターの活動は、地元民間企業にとって大きなメリットとなっていると思います。				
T社U様 ウィズコロナ、アフターコロナにおいて、マッチング／コーディネート的重要性は、より一層高まると感じておりますので、是非とも、活動を継続・発展させて頂ければと存じます。				

お問い合わせ

国立大学法人 東北大学大学院工学研究科 情報知能システム研究センター（IIS研究センター）

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05 TEL:022-795-4869 E-mail:info@iisrc.ecei.tohoku.ac.jp
工学研究科電子情報システム・応物系1号館630号室 FAX:022-795-4870 URL:http://web.tohoku.ac.jp/iisrc/



令和元年度
「情報化促進貢献個人等表彰」
経済産業大臣賞
受賞

2020.8



東北大学情報知能システム研究センター

Intelligent Information System research center (IIS研究センター)

電気情報系約80研究室の総合力と相互連携による産学官連携を推進します。

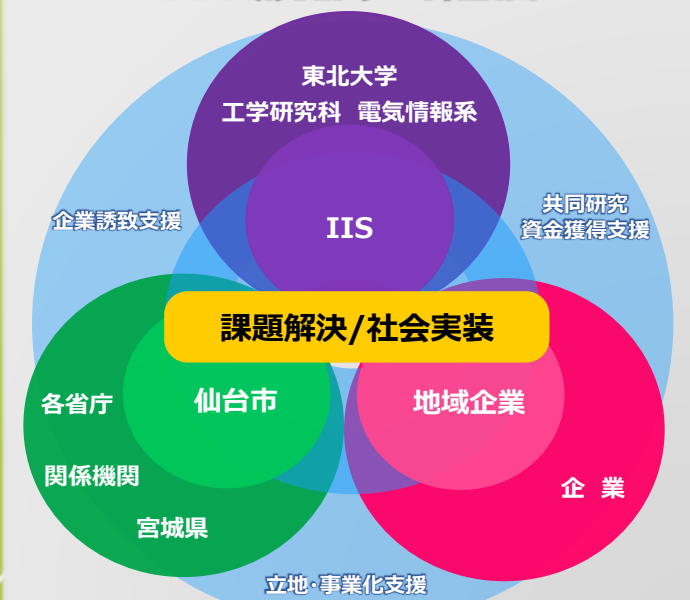
IIS研究センターは、2010年2月に企業支援・誘致施策として仙台市が運営費用を負担して設立した組織です。民間企業出身の特任教授が、企業目線で能動的に対応し、ニーズの具体化・絞り込みから関わることで、産学官連携による研究開発や技術の実用化・事業化を支援しています。震災後は、マッチングやコーディネートノウハウを活かし、被災地産業の復旧・復興を実現しようという戦略的な取り組みも行ってきました。これからも「新規事業創出」「雇用創出」「地域活性化」などの社会貢献を目指して活動していきます。

IIS研究センターの技術範囲

約80の研究室が持つ最先端技術



IIS研究センターの概要図



メンバー

センター長



工学研究科
教授 大町真一郎

副センター長



工学研究科
教授 山口正洋



情報科学研究科
教授 青木孝文



電気通信研究所
教授 白井 正文

常勤



特任教授 鹿野 満



特任教授 館田あゆみ



特任准教授 五十嵐絵美



特任助教 加藤廣康

運営委員

電気通信研究所 教授 石山 和志
工学研究科 教授 遠藤 哲郎
情報科学研究科 教授 中尾 光之
電気通信研究所 教授 羽生 貴弘
医工学研究科 教授 松浦 祐司

非常勤

特任教授 岡田 勝利
特任教授 菊池 務
特任教授 中山 明人

常勤

事務補佐 石高由美子

関連業界団体



せんだいIoT推進ラボ



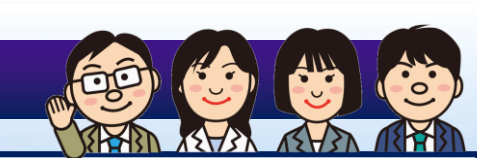
東北IT新生コンソーシアム



マシンインテリジェンス研究会



ドローンテックラボ仙台



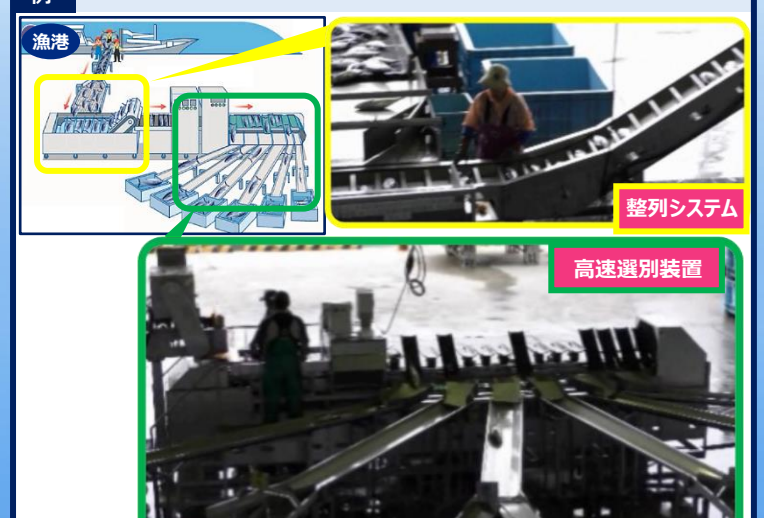
事例 魚・食肉等のX線残骨検査における自動検出装置の開発
(平成24年度中小企業庁戦略的基盤技術高度化支援事業)



対象技術

- 目視に頼る魚、食肉等の残骨検査の高速自動
- 作業負荷及び見落としなどの誤判定改善
- 照射角度の異なる複数X線画像を同時撮影
- 位相限定相関法などの画像処理技術の活用
- 微細な残骨・異物の立体的検出と判定

事例 ITペアリング復興事業 気仙沼魚市場「カツオの自動選別機」



目的

- 水揚げの機械化高生産性・高付加価値化、高度衛生管理対応)
- 高齢化・担い手不足⇒東日本大震災で深刻化

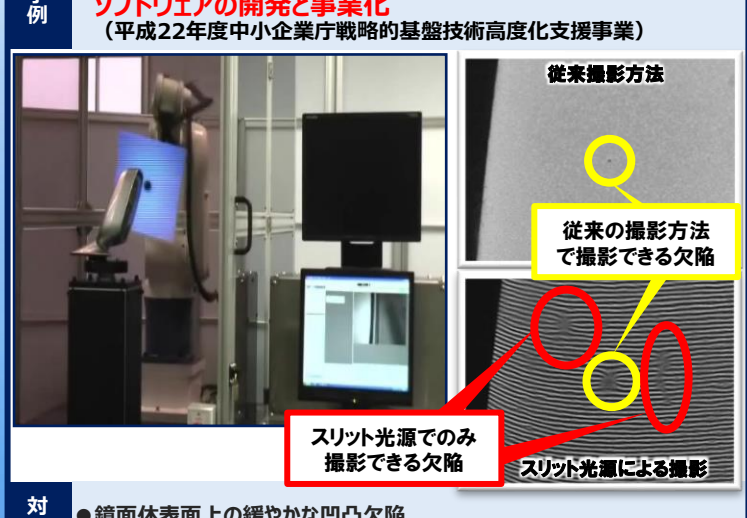
事例 ITペアリング復興事業 福島県伊達地域「IT桃」実現に向けた活動
(H26年度 農水省ICTを活用したスマート農業導入実証・高度化事業「他」)

ITで、ジャパンブランド桃をつくる。 おいしい桃をつくる技術



目標 原産の影響が残る献上桃の里の安全安心で魅力ある果樹生産環境の実現に向けた契機とする

事例 外観検査用産業用ロボットを高度化する画像処理組込みソフトウェアの開発と事業化
(平成22年度中小企業庁戦略的基盤技術高度化支援事業)

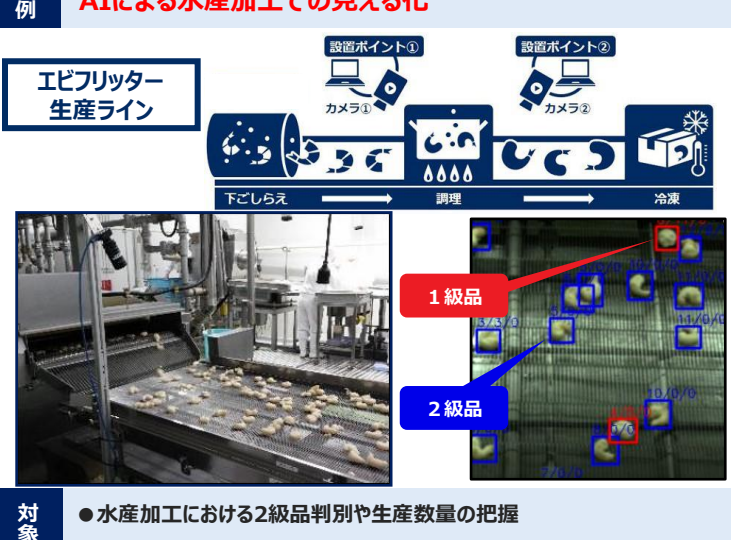


対象技術

- 鏡面体表面上の緩やかな凹凸欠陥
- スリット光パターン照射による欠陥部の顕在化画像と高度画像処理の適用

事例 AIによる水産加工での見える化

エビフリッター生産ライン



対象技術

- 水産加工における2級品判別や生産数量の把握
- 生産工程ごとにカメラを設置。画像をAI診断。生産個数を計測。
- 基準を満たさない製品画像をAIが大量に学習。特徴を導く。

事例 AIを活用したサバ種の自動選別装置
H27年度ものづくり中小企業連携支援事業
「匠の知とマシンインテリジェンスの融合による農水産関連産業の振興」



対象技術

- 取引価格の異なるマサバ、ゴマサバ、ハイブリッド種の混在するサバ種の選別作業を高速自動化することで生産性と付加価値向上に貢献
- 画像処理・認識・パターン認識技術などとAI技術を活用することで高速自動選別装置を実現

事例 虫発生状況の迅速評価システム
(平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金)



技術

- AI技術を活用した虫類同定技術の活用。
- オールインワン型コンパクト可搬型画像撮影・解析システム技術の開発。

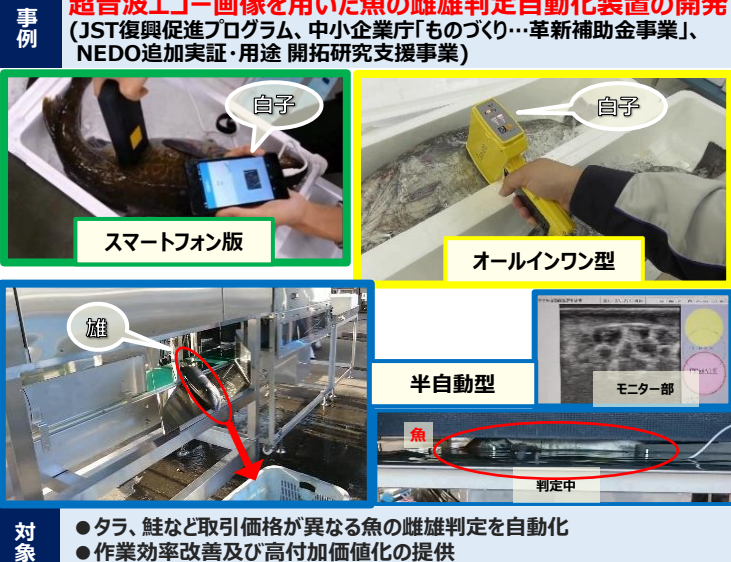
事例 タイヤ脱着作業の自動化
(令和元年度宮城中小企業チャレンジ応援基金事業)



対象技術

- 機械化によるタイヤ交換作業の負荷軽減
- ホイール、ハブボルトの位置合わせに画像処理技術を用いるなど、タイヤ交換作業を機械化

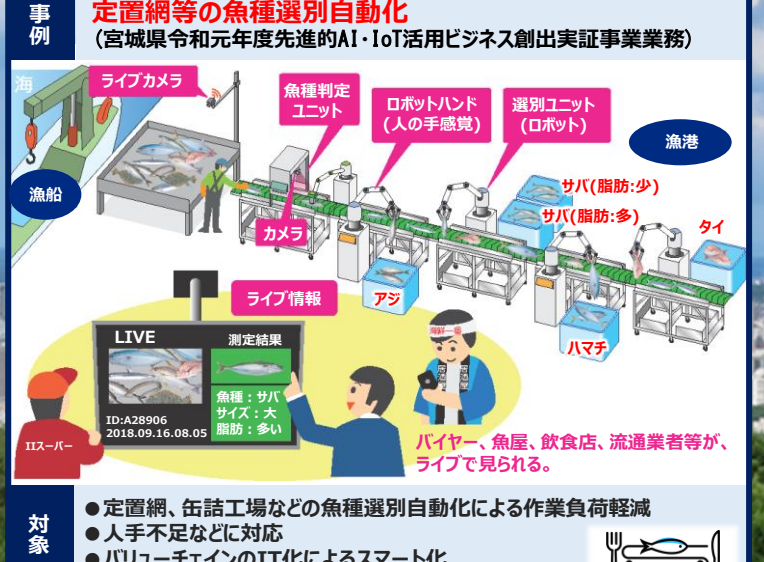
事例 超音波エコー画像を用いた魚の雌雄判定自動化装置の開発
(JST復興促進プログラム、中小企業庁「ものづくり...革新補助金事業」、NEDO追加実証・用途 開拓研究支援事業)



対象技術

- タラ、鯡など取引価格が異なる魚の雌雄判定を自動化
- 作業効率改善及び高付加価値化の提供
- 医療現場で培った超音波エコー診断技術
- エコー画像の画像処理及びAI技術の活用

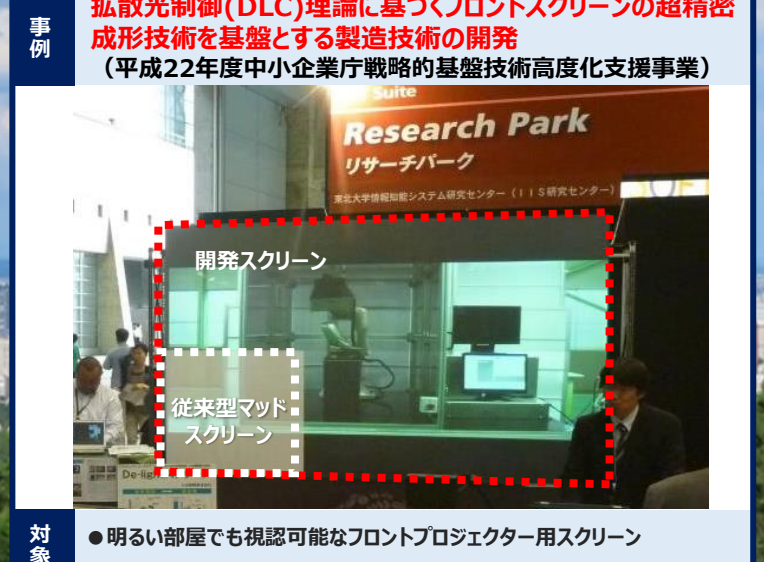
事例 定置網等の魚種選別自動化
(宮城県令和元年度先進的AI・IoT活用ビジネス創出実証事業業務)



対象技術

- 定置網、缶詰工場などの魚種選別自動化による作業負荷軽減
- 人手不足などに対応
- バリューチェーンのIT化によるスマート化
- 画像AI判定、ロボット技術を応用

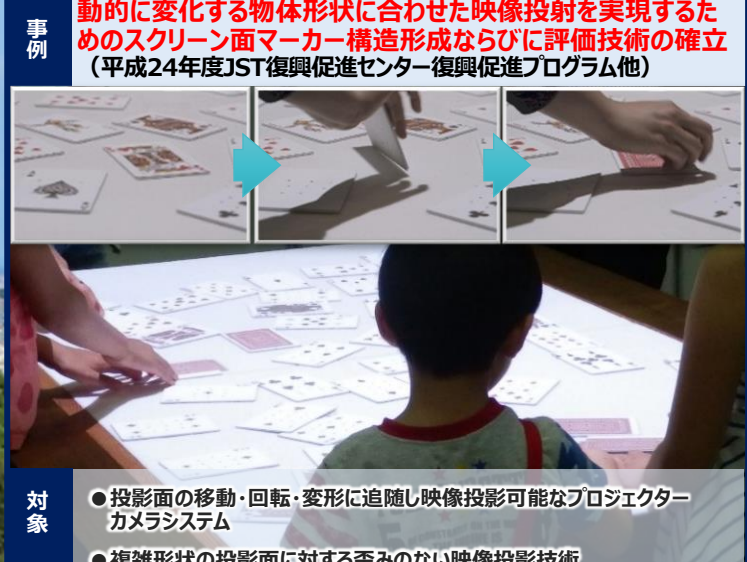
事例 拡散光制御(DLC)理論に基づくフロントスクリーンの超精密成形技術を基盤とする製造技術の開発
(平成22年度中小企業庁戦略的基盤技術高度化支援事業)



対象技術

- 明るい部屋でも視認可能なフロントプロジェクター用スクリーン
- 外光とプロジェクター光を制御するDLC理論と対応する光学設計と構造物の製造方法(特許取得)

事例 動的に変化する物体形状に合わせた映像投射を実現するためのスクリーン面マーカー構造形成ならびに評価技術の確立
(平成24年度JST復興促進センター復興促進プログラム他)



対象技術

- 投影面の移動・回転・変形に追従し映像投影可能なプロジェクターカメラシステム
- 複雑形状の投影面に対する歪みのない映像投影技術
- 投影対象の位置を含む固有情報を内包するマーカー付与システム(特許取得、日本デザイン学会プレゼンテーション賞他)